

一貫教育校の広場

横浜初等部 1年の歩み

●横浜初等部 教諭

かたやまそうご
片山壮吾

2013年4月6日に初めての新生を迎えてから1年が経過しました。入学当初はあまりに広い校舎とグラウンドに圧倒されていた1年生も、最近ではそれらを我が物として、休み時間になれば緑が目美しい芝生のグラウンドを縦横無尽に走り回り、日々たくましく成長しています。

生徒たちがお気に入りの場所の一つに「ピオトープ」があります。春から夏にかけては、水中の生物を探したり、石で水をせき止めたりして遊び、秋は虫捕り網を持って草むらを走り回りました。生徒のなかには驚くほど虫に詳しく、「この虫はレアだ」と友達に説明をする子もいます。冬に入り、池が凍りつくと見るや、朝から足で氷を割ったり、手に取ったりと喜んでいきます。周囲にも自然が多く残るこの場所で、豊かな五感を養っていくことでしょう。

授業でも日々さまざまな刺激を受けています。言葉の授業では、絵を見て分析する授業や、



お話を聞いて、それを文章に書き起こす再話の授業などで表現力や語彙を磨いています。生き方科の授業では、近隣の公園でどんぐりを拾い、コマを作って遊んだり、木の葉でお面を作ったりしました。他にも風上げや百人一首、クリスマス・リース作りなど、季節に合わせた活動をしています。行事もいろいろと経験してきました。1学期は開校記念式や早慶戦野球観戦があり、慶應義塾を支援、愛する方々が

大勢いることを知りました。開校記念式では、108名全員で、多くの塾員の方々に校歌を披露しました。また、早慶戦の後しばらくは、休み時間になると廊下中が「若き血」の大合唱でした。

2学期も行事が続きます。運動会では、在校生がまだ1年生だけなので、保護者の皆さんにも多数ご参加いただきました。当日は、10月中旬とは思えない30度を超える記録的な暑さのなか、こちらが驚くほどの闘志あふれる姿を見せてくださった方もいて、大いに盛り上がりました。音楽会では英語の歌を含む9曲を歌いました。舞台上で堂々と歌う我が子の姿に、涙する方も見受けられました。これらの行事は、生徒の成長を実感できる大切な場です。

ところで、横浜初等部のお昼は食堂で給食が提供されます。はじめの頃は食べきれないのに時間がかかりましたが、今ではほとんど全員が時間内に完食できるようになりました。残飯トレイが空なのを見ると、何とも清々しい気持ちになります。

もちろん、開校1年目ということの苦勞も少なくありませんでした。1年生にとっては、上級生のお手本がないので、登下校の指導については繰り返し注意喚起し、教職員による通学路の見回りもしてきました。細かいルールを一つ一つ決めていくのは大変なことですが、教職員がそれぞれの立場で日々知恵を出し合って考えています。

生徒たちは、日に日に慶應義塾への思いが強くなっていることを肌で感じます。春からはかわいい1年生を迎え、

どんなお兄さん、お姉さんになるのか楽しみです。

幼稚園

横浜初等部

普通部

中等部

湘南藤沢
中等部・高等部

高等学校

志木高等学校

女子高等学校

ニューヨーク学院
(高等部)